

入牧時65kgの子牛も退牧時は170kgの期待が寄せられる

放牧…大きく育てよ

牛の放牧は、五月七日から三日間、実取・岩井・臨元の

放牧場で行われました。

今年の放牧頭数は昨年より一割ほど増えて約六百頭。

この冬生まれた子牛は、初めてみる広い野に大はしやぎ。

親牛の周囲を元気に跳ね回っていました。

昭和56年 **5**月号

昭和五十二年の教育行政年報

学校・家庭

社会教育の一体化等



教育委員長 白川 行雄

市浦村教育委員会（白川行雄委員長）では、このほど昭和五十六年度における主要施策をまとめて、関係機関、団体をまとめて公表、説明しました。

これは、向う一年間の基本目標と学校教育社会教育の重点事項を定めたもので、美しい自然と共に生きる意欲ある人間の育成と、健康で明るい活力のある村づくりをめざしたものである。

それによると、まず、基本目標に、「伝統文化によって培われた豊かな情懷とすぐれた知性の伸長をはかり、美しい自然と共に生きる意欲ある人間の育成につとめる。こと

をかねて、重点事項には、学校教育の充実、社会教育活動の促進、青少年の健全育成、社会教育・スポーツの振興と施設の充実、芸術文化の振興と文化財の保護保存

をあげ、学校教育の重点事項では、授業の研究改善、教材教具の充実活用、体力づくりの推進、学習指導と生徒指導の一体化、家庭教育・社会教育との一

を強調している。また、社会教育実施策では、全村民の生涯にわたる主体的学習の推進を方針にかかげ、具体的な進め方については次のとおりなっている。

せいな実行力を備えた村民づくりにつとめる。社会教育環境の整備及び生涯の各時期に応じた学習の場と機会の拡充につとめる。地域住民の実態調査では、高齢者を除く成人男女の学習に対する認識が低速であることから、次の世代に生き、新しい地域社会の形成者である幼児及び小・中・高校生を持つ親の学習意欲の向上と、意識の定着につとめる。七項目にわたる重点事項を定め、次のとおりと



市浦村教育委員会

激変する社会情勢に對して、全村民の生涯にわたる主体的学習の推進をめざし、現代的課題を直視しながら、輝かしい郷土の未来を創造するにふさわしい豊かな人間性の育成を主眼とする。学校教育・家庭教育・社会教育が一体となり、全村あげて生涯教育の推進を図り、村民相互の対話の協調により共通理解を深め、社会教育の充実、発展につとめる。豊かで住みよい活力のある村づくりを貫き、豊かな情操、たくましい体力とおう

社会教育の指導体制の確立、公民館主事の専任、常勤、社会教育団体の指導者の養成、社会教育指導員の配置、民間有志指導者の社会的活用、生涯教育の推進、充実に及び有機的運営、各種学級及び講座の開設、家庭教育学級の充実、青少年教育の充実、社会体育の振興、村民総スポーツ事業の拡充、社会体育団体の拡充と自発的活動の助長、B & G 財団市浦海洋センターの高効率利用の促進、芸術・文化活動の振興、郷土芸能の保存・伝承、文化財の保護保存、文芸資料の収集・保存、文化団体、サークル等の育成助長、社会教育施設の整備、拡充、中央公民館建設の促進、村民総合運動公園建設の促進、社会教育関係団体の助長、地域的な社会教育活動の奨励、社会教育関係団体の活動の奨励。

あすを拓くあすなろ県民運動、健康で明るい快適な村づくり運動を促進するため、親切にする運動、交通ルールを守る運動、環境美化運動、健康づくり運動等を進めたいくこととしている。



教育次長 高橋 精一

人間は教育され得る動物であり、また教育されなければならぬ存在であると言われ、戦後、義務教育の年数が延長され、高校、大学の進学率が、グンと高くなったにもかかわらず、非行の低年層化や、校内暴力の激増はこうしたこと

今までの教育が悪かったのか、社会環境が乱れているためか、遺伝的な素因によるものか、原因は誠に複雑です。しかし、一般に非行の始まりは、「誰に誘われたから」等々すべて他人のせいにして、自分の意志や、責任は全く影が薄れているのが現実です。

③ 広報しゅうら

岩木川の河口十三湖……
サケの上る川として知られる岩木川も、近年めっきりその数も減って、漁獲量もさっぱり。
村では、沿岸漁業の見直しとして、国、県が打ち出したサケ資源増大計画に呼応し、昭和五十四年度から、磯松山国有林に、サケ・マスふ化場

期待を込めて サケの稚魚放流



5 cm程に成長した稚魚はふ化場から十三湖へ運ばれる

を建設・ふ化・放流事業に着手しています。
今年も二月一日から四月にかけて、三百万匹の卵を岩手県津軽石川から導入。昨年を上回る九十八万匹の高ふ化率を記録しました。



「十三湖を忘れないで」と漁協関係者が放流

四月二十八日放流したサケの稚魚は、体長五センチに成長したものがばかりで、三、四年後には成魚となって帰ってくるよう地元関係者の期待を担ったサケの稚魚は、元気に湖面を泳ぎまわっていました。
また、五十五年度から始まったクマルエビ放流事業は、十三湖中島付近に五十万匹を放流、五十六年度でも七月十日ごろから前週で中間飼育したあと、五十万匹を放流する予定になっています。
ホタテ養殖事業については、十三漁業協同組合が四月一日から四月七日までの間に、日本海（車力沖）に二百四十万個のホタテを放流しました。
この事業は、鯨ヶ沢、漁業・十二、下前、小泊の各漁業協同組合が単独事業として、一斉に実施したものです。

ベゴッコ 広い野にはしゃぐ

村では三年前から、高齢者や出かせぎ農家を対象とした子牛の貸付制度を導入し、飼養農家の拡大に努めています。現在の飼養戸数は六十七戸となつていて。
飼育頭数が年々増えてきたことに伴い草地面積が少なく需要に応じきれなくなつてきたことから、県では昨年から総事業費四億四千五百万円を投じて牧場の拡張工事を実施。昭和五十九年度の事業完成時には、草地を現在の百五十八畝から二百七十一畝に拡張される予定になっていきます。
この日は、朝からカラリと晴れ上がり、冬期間農家で飼育されていた牛がトラックで次々と運び込まれ、県家畜保



広いところだからネ、あまり遠くへ行くなよ!!
語り合う、モウ君の親子



放牧場までは、次々トラックで運ばれる



不安感じ//鼻紋をつつて
初登録する子牛

健康診断などから派遣された係員から、病気がないかどうか念入りに検査を受け、冬から春にかけて生まれた子牛も体重計に乗せられ、鼻紋をとって初登録しました。

飼い主に見守られて、約六カ月ぶりでは広い野に放された「モウ君」たちは、群れを作りながら牧場を走り回り、伸び伸びと牧草を食べていました。

B & G 十三小海洋クラブ誕生

—海洋性スポーツを
学校教育の一環に—

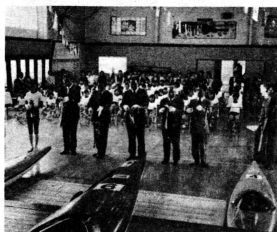
ゆとりの時間

ヨット・カヌーに挑戦

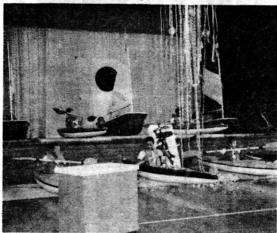
十三小学校（阿部季弘校長・児童数九十八人）では、ことしからヨットやカヌーを利用した、海洋性スポーツの指導に乗り出すことになり、五月十三日午後一時から、全校児童のほか、岡田豊三西北教育事務所長や白川浩三副村長ら地元関係者約六十人を招き、十三小海洋クラブ舟艇披露式を行いました。

財団法人「ブルーシー・アンド・グリーンランド財団」（略称B&G財団、笹川良一（会長）では、海洋性スポーツなどの実践活動を通じ、青少年の心身の練習をはかり、豊かな人間性を養い、海への関心を深めるとともに、海事思想の普及をはかることを目的に、青少年海洋クラブ育成事業を実施しています。

この事業の趣旨は、海と山と湖に恵まれた十三小学校で求めている「自然を活用した教育」にピッタリ一致していることから、阿部校長が昨年九月、B&G財団（東京都江東区深川）へ出かけ、詳しい内容を調べるとともに、事業実施の要請をしていました。



関係者のテープカット。海洋クラブの誕生を祝いました。



ヨット・カヌーはこのような……。早く十三湖へ行って乗りたいナァ……

— 566 —

同年十一月、阿部校長、白川茂主事、十三子ども会、八木沢良藏部長の三人がB&G財団で行った研修に参加し、初級育成士の資格を取得するなど、事業実現への足取りは急テンポに進められました。

五月二日、B&G財団からヨット・カヌーなど合わせて十八隻の船が届けられたことで、安全折衝を兼ねて父母や各関係者への披露となったものです。

同校では、このスポーツを四年生以上の土生四十三人全員を対象に、クラブ活動として、ゆとりの時間の一環として、毎週木・金曜日の午後合わせて三時間にわたって続けていくことにしています。

現実となった夢



十三小児童会長
相川 聡 貴

ふだんから、ヨットの浮かぶ十三湖を想像していたせいか、十三湖まで走る夢を何度もみました。

B&G財団からヨットやカヌーなど合わせて十八隻も寄贈され、夢の実現に校内もワクワクがえっています。

ヨットやカヌーなどには乗ったことはなく、少し不安もありますが、これらを利用した海洋性スポーツをおして、海への関心をより一層深めるとともに、強い体と豊かな心身を身につけるため、みんなでなかよくがんばりたいと思います。

教育効果と体力づくりを



十三小学校長
阿部 季 弘

本校の子どもたちに、心もからだも健康で、生き生きと活動する姿を求めようという願いから、海洋性スポーツを取り入れることになりました。

毎週、クラブ活動とゆとりの時間を利用して、水曜日・木曜日の午後、三時間にわたる学習していくことにしています。対象は四年生以上全員。

P.T.Aや地域の方々のご協力を得て、前週、十三湖という美しい自然の中で、全職員が一体となって、この活動を展開していきたい。海でのスポーツは、子どもたちに貴重な体験や感動となつて、毎日の学習に生かされ、更には、本校の教育目標達成に大きな役割を果たしていくものと信じています。

進む緑化運動

「ソメイヨシノ」を 記念植樹、桜の名所に

北五地方林業振興協議会（平山文三郎会長）では、五月二十一日午前十時三十分から相内小学校グラウンドで五十六年度の総会を開き、北五管内から集った約百人の関係者が、グラウンド周辺にサクラ（ソメイヨシノ）百二十本を記念植樹しました。

総会ではまず、平山文三郎会長、白川治三郎村長が「健康で明るい生活を送るため、森林は欠くことのできないものである。豊かな森林を次代を担う若い人たちに受継ぐため、それぞれの分野で協力したことが大切である。」とあいさつ。続いて、林業功労者に表彰したあと、村上兵衛北地方農林事務所長から村内各

森林は、私たちの生活に必要な水源をかん養するほか、国土を保全するなどさまざまな機能を持っています。そして、近年の都市化の進展に伴い、その重要性はますます増大しています。私たちの国土を緑豊かな環境にするために、各地の関係機関団体が毎年緑化運動を続けています。



(上) 無償苗木の配布などを決めた総会
(下) 児童・生徒も含めて「ソメイヨシノ」を記念植樹

て、市浦中学校の成田卓也生徒会長が「苗木を大切に育て、緑を大切にする心を養い、たくましい樹木のような人間になりなす」とお礼の言葉を述べました。

新築なかつた相内小学校グラウンド周辺には、百二十本のサクラ（ソメイヨシノ）が植えられ、地元関係者からは早くも記念樹の成長を期待する声があがっています。なお、総会の席上、永年になつて海岸防災林造成と森林造成事業に携わり、地域住民の造林意識高揚に尽力した功績が認められて、佐藤佐吉（脇元）さんと高橋信男（十三）さん（市浦関係分）に平山会長から表彰状が手渡されました。

山の緑を山火事から守る 四ツ滝沢に杉600本



杉の苗木は一本一本大事に植えられました

「緑の山づくり」は私たちの大切な仕事の一つですが、これを「山火事から守る」こともまた重大な仕事でもあります。郷土に緑と豊富な資源を、を主旨にかかげた植樹祭が、五月十五日、児童、生徒八人を含む関係者約百五十人が参加して、市浦宮林養、市浦村小泊村の共催で行われました。この日は好天に恵まれ、菊谷謙三宮林養長のあいさつ

あと、約二十名の緩やかな山の斜面に杉の苗木六百本を植えました。植樹した場所は、相内地区から約八キロ離れた四ツ滝沢のすそにあり、立地条件もよく順調な生育が期待されています。植樹祭のあと、山火事予防協議会を開き、「山へ入つても火の始末は完全に行い、特にたばこの投げ捨ては絶対やめよう」と呼びかけました。

役場の電話は
2111番です

おしらせ

守っていますか
ドライブ好きなあなた!

行楽シーズンを安全に

ドライバーの皆さん、次の8つの事項を守り、ドライブの安全を心がけましょう。

- 1 ●「無理をしない他人に迷惑をかける」の精神で!
- 2 ●スケジュールは余裕をもって!
- 3 ●出発の前にクルマの整備点検を忘れず!
- 4 ●シートベルトの着用を!
- 5 ●お酒を飲んだらハンドルを握らない!
- 6 ●行楽の開放感から、スピードは出さずぎゅんぎゅん!
- 7 ●長時間のドライブは、運転は交代で!
- 8 ●いつブレーキをかけるかわからない場合、急な急ブレーキを踏むことがある。

忘れないでネ!

自動車税の納期限は 6月30日

■自動車をお持ちの皆さんへ
自動車税の納入は6月30日(火)まで済ませましょう。もよりの銀行、郵便局および県で指定した農協の窓口で納めることができます。

また、納税貯蓄組合に加入している人は、組合を通じて納めましょう。

■住所が変わった人へ
市役所・役場・郵便局には、住所の変更届を出しても、県税事務所には届出を忘れている方があります。このため自動車税のキップがお手もとに届かないことがありますので、早めに自動車税管理事務所か、もよりの県税事務所に連絡してください。

■今年愛車が車検の人へ
車検には、納税証明書が必要です。納税を済ませたあとの自動車税のキップは、納税証明書になりますので、車検証と一緒に大切に保管しましょう。

■自動車を下取りに出したり、販売した人へ
陸運事務所に登録の手続きを済ませていないと、自動車税はまたあなたにかかります。下取りに出した自動車販売会社や、売り渡した相手の人とよく相談して、早い機会に解決してください。

手続きしていますか

一こくみんねんきん一

国民年金の加入者が、出稼ぎ先で厚生年金保険に加入した場合は、今まで加入していた国民年金をやめることになります。

働く本人は、厚生年金保険の期間が少しだからと、国民年金をやめる手続きをしなかったり、留守家族の方が本人の厚生年金保険加入を知らないために、国民年金の保険料を納めていることもあります。

この場合、厚生年金保険と国民年金の保険料は二重納付できないことになっています。二重納付された国民年金を保険料を、後で本人に返すむだな手数料がかかります。

こんなことのないように、出稼ぎ先で厚生年金保険に加入することを前もって知ったときは、できるだけ事前に市町村役場の国民年金係へ連絡するか、行き先で厚生年金保険に加入した場合は、家族に連絡して国民年金をやめる手続きをしてください。

加入している年金制度が変わっても、将来、それぞれの加入期間を合計して必要な年数の保険料を納めていれば、それぞれの制度から通算老齢年金が支給されるしくみになっているので、心配する必要はありません。

また、夫が厚生年金保険などに加入した場合、妻の国民年金は任意加入になります。続けてかけていた方が安心です。

待ちどほしい

市浦海洋センターの完成

三月着工したB&G

財団市浦海洋センター

の建設がいま、急ピッチで進められています。

スポーツを楽しむ一人として、その完成が待たれてなりません。

体育協会を中心に行われているパレオボール・バドミントン・卓球・テニス・野球・陸上・青少年を対象とした剣道教室・高齢者に入気のゲートボールなど、市民のスポーツ熱は高まる一方です。

これまで不便を感じていたスポーツ施設も海洋センターの完成で解消されると思うが、各団体、クラブの民生的で効率的な利用が社会体育の向上につながるものだと思います。



吉田 照子

社 教 シ リ ーズ

生涯教育をわがやうに ④

派遣社教主事 片山 永 繁

家庭教育の充実が叫ばれてはいるが、家庭教育という言葉のもつ意味を、まちがうてとらえている人もかなり多いように見受けられる。

そのために、親が躍りとなって、子どもに勉強を強制している話をよく聞く。

家庭での学習は親が強制するよりも、子どもが自発的にしてこそ効果があるのだ。しかし、本当の家庭教育は、学校でしている学習以外の親が家庭生活を通して、ものの見方、考え方、行い方を身につけ、子どもが自立していくのを助ける人間教育である。それ故、親自身の考えや見識に子どもの将来がかかっているのだ。

自分の子どもを将来どんな家庭人、社会人にするのか、それぞれに必要な要素なのだから、その要点がわかる親にならない。自分勝手な考え方や行動し、言葉遣いでも悪く、ルーズな生活の子どもをたらを見る、今更のように、夫婦とは、親とは、家庭とは何かを考えさせられると嘆いている人もいる。特に中学生期になると、高

校受験で学校をふり分けられることによって一生の予想がつき、そこからあるべき不安が顔を占め、テレビを見ても遊んでいても忘れることのできない苦しさの中にあるといわれています。

こういう時こそ、親は子どものために共に考え、背後を支える信頼の力となるよう努力すべきである。

市浦村の各小学校区で実施している家庭教育支援も、そういう親の考え方、見識、子どもへの対応のしかたについて学習し合う場の一つなので

二八目の子どもが生まれると、母親は、どうしても下の子に手がかるから、上の子のこと、うっかりすると見過ごしてしまうことが多くあります。

このような上の子の満ち足りた「環境」が、弟や妹の誕生によって急に変わることもあるのです。親は、どちらかといえば、生まればかりの下の子に目が移がちです。そのため、

にとられます。このため、急に「だっつ子」とか「甘えっ子」になることがよくあります。あるいは反対に「いたずらっ子」、あばれっ子になる場合もあります。親の言うことを素直に聞こ

こうしたのとなないようにするには、母親は二人を平等に扱うように心がけ、子どもとは同じ親の子という考えを持たせるようにすることが、また上の子には、お兄さん(お姉さん)としての心構えについて、親子で十分に話し合うことが必要です。兄弟のあり方を教え、自分勝手な自己主張は遠慮(姉さん)らしくないことを自覚させることです。

二人の子どもは、親に對して対等な愛情を求めます。親の態度が大切なわけです。

母と子の こころ

愛情は平等に

上の子は不安や孤独感を味わうことが多くなります。そればかりか、嫉妬心さえでてくる場合があります。このようなしんから、子どもはイライラしたり、ソワソワしてイライラしますが、時には寂しい思い

です。

三和明彦さん長男(脇元) 潤ちゃん(9カ月) ちよつとすまじちゃったかな泣いてママをこまらすことは泣いたくないノボク、男だモン!!



- お誕生
- 三上 隼人(脇元) 義文
 - 中畑 聖矢子(脇元) 藤義
 - 田中 清秀(十三) 清則
 - 三和 信弥(相内) 博
 - 松橋 淳(十三) 誠
 - 二藤部 優(脇元) 千代文
 - 工藤 仁美(桂川) 仁人
- おくやみ
- 石 英次(茨城)
 - 古川美代子(太田)
 - 鍋田 照男(群馬)
 - 濱田美代子(十三)
 - 櫛引 正 昭
 - 藤丸由美子(小泊)
 - 三上 省行(脇元)
 - 黒澤 京子(八戸)
 - 三上 幸弘(脇元)
 - 富士美智子(金木)
 - 中村 敏(青森)
 - 後藤 伴子(磯松)
 - 三和 清規(相内)
 - 奈良富士子(十三)
 - 久保田 隆(相内)
 - 河端みどり(北海道)
 - 相川忠四郎(71歳) 十三
 - 中山彌三吉(77歳) 磯松
 - 吉田 イイ(77歳) 相内
 - 小山内イマ(63歳) 十三

こころには赤ちゃん

三和明彦さん長男(脇元) 潤ちゃん(9カ月) ちよつとすまじちゃったかな泣いてママをこまらすことは泣いたくないノボク、男だモン!!